

江口家住宅

江口家住宅は 19 世紀初頭に建てられ、1840 年に畳の部屋が追加されました。

江戸時代（1603～1867）、江口家は蓮池藩で生産された米を扱い、蓮池藩の商人として余剰分を近くの倉庫に保管していました。5 代目の家長である江口平兵衛（1787-1859）は、18 年間の日常生活を描いた天相日記を書いたことで知られています。この日記は江戸時代後期の塩田津での生活を包括的に説明しており、今では歴史的に価値のある文書と見なされています。

天相日記は現在、近くの嬉野市歴史民族博物館に保管されています。